

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度				29年度	30年度
1	観光かごしま大 キャンペーン推進 事業	観光交流局 観光プロ モーション課	啓 発 ・ 広 報	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 県や関係自治体と連携して観光キャンペーン等を実施し、首都圏・関西・中国地区等からの誘客を図るため、観光かごしま大キャンペーン推進協議会に対し、負担金を支出する。 【対象者】 観光客 【具体的な活動内容】 ・明治維新150周年カウントダウンキャンペーン ・新幹線沿線からの効果的な誘客 ・「西郷どん」キャンペーン	市 単	[概算コスト] 10,313 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 313 (0.04人)	[概算コスト] 10,310 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 310 (0.04人)	[概算コスト] 15,307 (内訳) ・決算額 15,000 ・人件費 307 (0.04人)	[概算コスト] 10,311 (内訳) ・予算額 10,000 ・人件費 311 (0.04人)	取組事業 数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 達成率 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 7 達成率 100.0%	宿泊観光 客数 (単位:千 人)	[目標値] 3,500 [実績値] 3,411 達成率 97.5%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,535 達成率 101.0%	[目標値] 3,800 [実績値] 3,792 達成率 99.8%	[目標値] 3,800 [実績値] 3,800 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 県や関係自治体と連携して、観光客誘致を図るため、必要な事業であるが、負担金支出について見直すべきである。
2	合宿・大会誘致推 進補助事業	観光交流局 スポーツ課	助 成 ・ 育 成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 本市の魅力に触れてもらう機会を増やし、観光振興につなげるため、県外団体が本市で行う合宿及び大会参加の宿泊費を助成する。 【対象者】 県外にある大学の運動系及び文化系の団体 【具体的な活動内容】 ・合宿及びスポーツ大会参加団体への補助金交付 ・誘致セールス ・合宿宿泊プラン造成の働きかけ	市 単	[概算コスト] 5,791 (内訳) ・決算額 3,810 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 5,289 (内訳) ・決算額 3,327 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 5,633 (内訳) ・決算額 3,689 ・人件費 1,944 (0.25人)	[概算コスト] 6,035 (内訳) ・予算額 4,100 ・人件費 1,935 (0.25人)	本市で合 宿及び大 会参加を 行い、本 補助金 の助成 を受けた 団体の 総泊数 (単位:泊)	[目標値] 30 [実績値] 28 達成率 93.3%	[目標値] 30 [実績値] 29 達成率 96.7%	[目標値] 30 [実績値] 33 達成率 110.0%	[目標値] 35 [実績値] 33 達成率 94.3%	本市で合 宿及び大 会参加を 行い、助 成を受け た団体の 総泊数 (単位:泊)	[目標値] 4,000 [実績値] 3,513 達成率 87.8%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,204 達成率 80.1%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,586 達成率 89.7%	[目標値] 4,000 [実績値] 4,000 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 県外の大学生を誘致することは、本市の観光振興等に資するため必要な事業であるが、総泊数が目標に達していないことから、団体数や1団体あたりの泊数が増加するよう、誘致活動を効果的なものに見直すべきである。
3	観光農業公園管理 運営事業	観光交流局 グリーンツー リズム推進 課	施 設 維 持 ・ 管 理	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 豊かな農村地域を活かしたグリーン・ツーリズムの推進を図るため、拠点施設である観光農業公園の運営及び維持管理を行う。 【対象者】 市民、観光客 【具体的な活動内容】 ・企画運営指導員、運営嘱託員による体験プログラム等の受付等 ・施設の維持管理 ・滞在型市民農園の維持管理	市 単	[概算コスト] 101,686 (内訳) ・決算額 82,671 ・人件費 19,015 (2.40人)	[概算コスト] 98,760 (内訳) ・決算額 79,922 ・人件費 18,838 (2.40人)	[概算コスト] 98,910 (内訳) ・決算額 80,248 ・人件費 18,662 (2.40人)	[概算コスト] 100,880 (内訳) ・予算額 82,302 ・人件費 18,578 (2.40人)	施設の開 園日数 (単位:日)	[目標値] 362 [実績値] 359 達成率 99.2%	[目標値] 361 [実績値] 357 達成率 98.9%	[目標値] 361 [実績値] 357 達成率 98.9%	[目標値] 361 [実績値] 357 達成率 98.9%	来園者数 (単位:人)	[目標値] 193,000 [実績値] 192,996 達成率 100.0%	[目標値] 198,000 [実績値] 190,502 達成率 96.2%	[目標値] 203,000 [実績値] 182,052 達成率 89.7%	[目標値] 208,000 [実績値] 208,000 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 豊かな農村地域を活かしたグリーン・ツーリズムの拠点施設を維持管理するために必要な事業であるが、より効率的に運営ができるよう、指定管理者制度導入に向けて取り組みむべきである。 また、来園者数が目標値に達していないことから、来園者数増につながるイベントや情報発信に取り組むべきである。
4	天文館ミリオネ ーションの開催	観光交流局 観光振興課	イ ベ ン ト	○事業開始年度 平成27年度 【概要】 冬季の滞在型観光の推進を図るため、中心市街地に大規模なイルミネーションで光の空間を創り出す、冬のイベント「天文館ミリオネーション」を開催する。 【対象者】 観光客、市民等 【具体的な活動内容】 鹿兒島最大の繁華街「天文館」を約100万球のLED電球で彩る大規模なイルミネーションイベントを開催	市 単	[概算コスト] 90,845 (内訳) ・決算額 88,500 ・人件費 2,345 (0.30人)	[概算コスト] 90,822 (内訳) ・決算額 88,500 ・人件費 2,322 (0.30人)	[概算コスト] 90,805 (内訳) ・決算額 88,500 ・人件費 2,305 (0.30人)	[概算コスト] 90,836 (内訳) ・予算額 88,500 ・人件費 2,336 (0.30人)	メイン会場 点灯日数 (単位:日)	[目標値] 24 [実績値] 24 達成率 100.0%	[目標値] 24 [実績値] 29 達成率 120.8%	[目標値] 29 [実績値] 41 達成率 141.4%	[目標値] 42 [実績値] 41 達成率 97.6%	来場者数 (単位:千 人)	[目標値] 170 [実績値] 170 達成率 100.0%	[目標値] 170 [実績値] 185 達成率 108.8%	[目標値] 185 [実績値] 200 達成率 108.1%	[目標値] 200 [実績値] 200 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 冬のイベント「天文館ミリオネーション」を開催することは、冬季の滞在型観光の推進を図るため、必要な事業であるが、天文館全体のイベントとして発展するよう会場周辺の通り会の新たなイベントの掘り起しなど、より事業効果が高まるように見直すべきである。
5	頑張る商店街支 援事業	産業局 産業支援課	助 成 ・ 育 成	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 商店街の活性化を図るため、独自のアイデアや創意工夫を生かして実施するイベント等の事業に対して助成する。 【対象者】 商店街等 【具体的な活動内容】 ・補助率:1/2以内 ①総合支援型:年間400万円以内(補助対象期間:10年間) ②個別支援型:年間50万円以内	市 単	[概算コスト] 40,735 (内訳) ・決算額 36,357 ・人件費 4,378 (0.56人)	[概算コスト] 41,259 (内訳) ・決算額 36,383 ・人件費 4,876 (0.63人)	[概算コスト] 44,162 (内訳) ・決算額 39,475 ・人件費 4,687 (0.61人)	[概算コスト] 48,329 (内訳) ・予算額 43,580 ・人件費 4,749 (0.61人)	補助申請 団体数 (単位:件)	[目標値] 29 [実績値] 32 達成率 110.3%	[目標値] 32 [実績値] 35 達成率 109.4%	[目標値] 35 [実績値] 36 達成率 102.9%	[目標値] 36 [実績値] 36 達成率 100.0%	商店街の 活性化に 寄与	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	[目標値] [実績値] 達成率	A	B	見直し (理由) 商店街でのイベント開催等へ助成することは、商店街の活性化を図るために必要な事業であるが、補助期間の終了後に商店街等が自立した運営ができるような事業のあり方や支援のあり方に見直すべきである。
6	農村女性等活動支 援事業	産業局 生産流通課	助 成 ・ 育 成	○事業開始年度 平成26年度 【概要】 農村地域の活性化を図るため、農産加工活動、地域農産物等のPR・地産地消の推進・食文化の継承など、地域農産物等を活用しているグループ活動に対し支援する。 【対象者】 市農村女性等グループ連絡協議会 【具体的な活動内容】 下記活動への補助金(補助率1/2以内) ①農産加工研修会 ②各種イベントでの試食販売等によるPR活動および地産地消推進活動 ③食文化の継承のための料理教室 など	市 単	[概算コスト] 3,700 (内訳) ・決算額 700 ・人件費 3,000 (0.38人)	[概算コスト] 4,996 (内訳) ・決算額 700 ・人件費 4,296 (0.56人)	[概算コスト] 5,467 (内訳) ・決算額 700 ・人件費 4,767 (0.62人)	[概算コスト] 4,609 (内訳) ・予算額 700 ・人件費 3,909 (0.50人)	農産加工 研修会開 催回数 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 5 達成率 125.0%	[目標値] 4 [実績値] 5 達成率 125.0%	[目標値] 4 [実績値] 7 達成率 175.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 達成率 100.0%	農産加工 品販売額 (単位:千 円)	[目標値] 90,330 [実績値] 81,910 達成率 90.7%	[目標値] 90,330 [実績値] 91,120 達成率 100.9%	[目標値] 91,120 [実績値] 98,180 達成率 107.7%	[目標値] 98,180 [実績値] 98,180 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 農村地域の活性化を図るために必要な事業であるが、グループが固定化しているため、新規グループの結成促進に取り組むこと。 また、加工品数や売上高の推移をみながら、段階的な補助率の減など、必要な見直しを行うべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度				29年度	30年度
7	受精卵移植事業	産業局 生産流通課	その他	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】 優良系統の確保による畜産経営の安定を図るため、受精卵移植技術を活用し、肉用牛、乳用牛の資質改善を行う。 【対象者】 農業者 【具体的な活動内容】 ・優れた受精卵を得るための供卵牛の購入 ・供卵牛より受精卵の採卵 ・他の雌牛への受精卵の移植	市単	[概算コスト] 15,027 (内訳) ・決算額 8,304 ・人件費 6,723 (0.86人)	[概算コスト] 14,923 (内訳) ・決算額 8,267 ・人件費 6,656 (0.86人)	[概算コスト] 14,274 (内訳) ・決算額 7,667 ・人件費 6,607 (0.86人)	[概算コスト] 17,138 (内訳) ・予算額 10,442 ・人件費 6,696 (0.86人)	受精卵を移植した頭数 (単位:頭)	[目標値] 200 [実績値] 265 <達成率> 132.5%	[目標値] 200 [実績値] 236 <達成率> 118.0%	[目標値] 200 [実績値] 197 <達成率> 98.5%	[目標値] 200 [実績値] 104 <達成率> 78.2%	[目標値] 133 [実績値] 104 <達成率> 78.2%	[目標値] 118 [実績値] 95 <達成率> 80.5%	[目標値] 99 [実績値] 70 <達成率> 70.7%	[目標値] 100 [実績値] 70 <達成率> 70.7%	A	B	見直し (理由) 肉用牛、乳用牛の資質改善を行うことは、畜産経営の安定を図るために必要な事業であるが、受精卵の移植が無料であるため、受益者負担の観点から、費用負担のあり方を検討し、負担基準を設けるなど、見直しを行うべきである。	
8	遊休農地活用推進事業	産業局 農政総務課	助成・育成	○事業開始年度 平成29年度 【概要】 遊休農地の発生防止・解消を図るため、現状把握や各地域における話し合いを促進し、担い手等へ農地の流動化などを進める一方、営農再開が困難な農地は、都市農村の交流の場への活用など、地域の実情に合った多様な活用方法により、農地の保全管理を推進していく。 【対象者】 農地の所有者 【具体的な活動内容】 ・遊休農地の調査及び活用方法の検討 ・担い手への農地の農地流動化 ・農地中間管理事業による農地の集積等 ・市民農園の活用による遊休農地の発生防止など	国補助	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 16,005 (内訳) ・決算額 6,785 ・人件費 9,220 (1.20人)	[概算コスト] 15,609 (内訳) ・予算額 6,266 ・人件費 9,343 (1.20人)	人・農地プラン数(地域における話し合いの場)(累積) (単位:地区)	[目標値] 17 [実績値] 17 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 18 <達成率> 90.0%	[目標値] 21 [実績値] 21 <達成率> 100.0%	[目標値] 24 [実績値] 1 <達成率> 16.7%	[目標値] 6 [実績値] 1 <達成率> 16.7%	[目標値] 6 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 9 [実績値] 4 <達成率> 44.4%	[目標値] 10 [実績値] 4 <達成率> 44.4%	A	B	見直し (理由) 遊休農地の現状把握や活用促進を行うことは、遊休農地の再生や発生防止を図るため、必要な事業であるが、解消面積が目値に達していないことから、農業委員会と連携して、新たな解消策に積極的に取り組むなど、見直すべきである。	
9	すこやか長寿まつりの開催	健康福祉局 長寿支援課	イベント	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 高齢者の社会参加や生きがいづくり・健康づくりを促進するとともに、家族・地域とのつながりを実感できるスポーツ・文化のイベントとして、「すこやか長寿まつり」を開催する。 【対象者】 60歳以上の市民を含む団体、家族、地域住民 【具体的な活動内容】 ①グラウンド・ゴルフ大会、②ゲートボール大会 ③ソフトテニス大会、④ウォークラリー大会 ・文化部門 ①ねんりんステージ、②高齢者作品展	市単	[概算コスト] 15,622 (内訳) ・決算額 12,495 ・人件費 3,127 (0.40人)	[概算コスト] 14,563 (内訳) ・決算額 11,467 ・人件費 3,096 (0.40人)	[概算コスト] 14,524 (内訳) ・決算額 11,451 ・人件費 3,073 (0.40人)	[概算コスト] 14,604 (内訳) ・予算額 11,490 ・人件費 3,114 (0.40人)	実施種目数 (単位:種目)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 3,346 <達成率> 72.7%	[目標値] 4,600 [実績値] 3,916 <達成率> 87.0%	[目標値] 4,500 [実績値] 3,784 <達成率> 82.6%	[目標値] 4,580 [実績値] 3,784 <達成率> 82.6%	[目標値] 4,560 [実績値] 3,784 <達成率> 82.6%	A	B	見直し (理由) 高齢者の社会参加や生きがいづくり・健康づくりを促進するために必要な事業であるが、参加者の少ない種目等もあることから、ニーズの把握に努め、より多くの市民に参加を促すような事業内容に見直すべきである。	
10	高齢者のしおり作成事業	健康福祉局 長寿支援課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】 高齢化社会に対する啓発と高齢者への適切なサービスを周知するため、高齢者の保健福祉サービスに関する施策及び健康づくりや介護予防の知識などを分かりやすく掲載した「輝きライフ」を隔年で作成し配布する。 【配布先】 本庁、各支所保健福祉課、各保健センター、民生委員児童委員、地域福祉館、地域公民館等 【具体的な活動内容】 ・高齢者のしおりの作成、配布	市単	[概算コスト] 4,495 (内訳) ・決算額 2,150 ・人件費 2,345 (0.30人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 4,495 (内訳) ・決算額 2,190 ・人件費 2,305 (0.30人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・予算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	作成部数 (単位:部)	[目標値] 31,000 [実績値] 28,000 <達成率> 90.3%	[目標値] 28,000 [実績値] 28,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 28,000 [実績値] 28,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 24,470 [実績値] 24,470 <達成率> 100.0%	[目標値] 3,530 [実績値] 3,530 <達成率> 100.0%	[目標値] 23,135 [実績値] 23,135 <達成率> 100.0%	[目標値] 4,865 [実績値] 4,865 <達成率> 100.0%	[目標値] 4,865 [実績値] 4,865 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 高齢者の保健福祉サービス等に関する情報を提供し、適切なサービス利用につなげていくために必要な事業であるが、冊子の作成にあたっては、広告掲載や民間との協働による作成など、効率的・効果的な手法へ見直すべきである。	
11	ゆうあいガイドブック作成事業	健康福祉局 障害福祉課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和34年度 【概要】 障害者の在宅生活の質の向上や社会参加の促進等を図るため、障害者やその家族に対して、各種福祉制度の概要や手続き方法等を紹介するガイドブックを作成する。 【対象者】 障害者、障害者の家族、関係機関、関係団体及び施設職員等 【具体的な活動内容】 ・ゆうあいガイドブックの作成及び配付 (制度改正等に応じて作成)	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 2,210 (内訳) ・決算額 972 ・人件費 1,238 (0.16人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・予算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	作成部数 (単位:部)	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 障害福祉サービス及び各種制度等をまとめて障害者やその家族等に周知するために、必要な事業であるが、冊子の作成にあたっては、広告掲載や民間との協働による作成など、効率的・効果的な手法へ見直すべきである。
12	市民福祉手当(障害者・児)支給事業	健康福祉局 障害福祉課	助成・育成	○事業開始年度 昭和45年度 【概要】 重度障害者(児)の福祉の増進を図るため、年額24,000円の市民福祉手当を支給する。 【対象者】 ・基準日時点において、本市に引き続き1年以上居住している者 ・身体障害者手帳1・2級、療育手帳A1、A2、B1、精神障害者保健福祉手帳1・2級又はこれに準ずる者 【具体的な活動内容】 ・年額24,000円の手当を支給する。	市単	[概算コスト] 333,896 (内訳) ・決算額 331,551 ・人件費 2,345 (0.30人)	[概算コスト] 364,348 (内訳) ・決算額 362,026 ・人件費 2,322 (0.30人)	[概算コスト] 350,934 (内訳) ・決算額 348,629 ・人件費 2,305 (0.30人)	[概算コスト] 361,965 (内訳) ・予算額 359,629 ・人件費 2,336 (0.30人)	交付人数 (単位:件)	[目標値] 14,769 [実績値] 13,737 <達成率> 93.0%	[目標値] 14,804 [実績値] 15,019 <達成率> 101.5%	[目標値] 15,125 [実績値] 14,436 <達成率> 95.4%	[目標値] 14,889 [実績値] 14,889 <達成率> 100.0%	[目標値] 354,456 [実績値] 329,688 <達成率> 93.0%	[目標値] 355,296 [実績値] 360,456 <達成率> 101.5%	[目標値] 363,000 [実績値] 346,464 <達成率> 95.4%	[目標値] 357,336 [実績値] 346,464 <達成率> 95.4%	[目標値] 357,336 [実績値] 346,464 <達成率> 95.4%	A	B	見直し (理由) 重度障害者(児)の福祉の増進を図るために必要であるが、重度障害者については、支援制度の充実が図られてきていることから、制度のあり方について検討し、見直しを行うべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度				29年度	30年度
13	私立幼稚園等の運営に関する助成事業	健康福祉局 保育幼稚園課	助成・育成	<p>○事業開始年度 昭和48年度</p> <p>【概要】 私立幼稚園等の職員の資質向上と教育及び保育内容の充実を図るため、私立幼稚園や認定こども園、私立幼稚園協会に対し補助を行う。</p> <p>【対象者】 私立幼稚園等及び鹿児島市私立幼稚園協会</p> <p>【具体的な活動内容】 ・私立幼稚園に対しては、研修費、教材費、絵本に親しむ活動費、読み聞かせ奨励費、運営費、保健衛生充実事業費等に要する経費などを助成 ・鹿児島市私立幼稚園協会に対しては、協会運営に要する経費を助成</p>	市単	[概算コスト] 184,741	[概算コスト] 199,463	[概算コスト] 194,877	[概算コスト] 196,660	助成申請園数 (単位:園)	[目標値] 64	[目標値] 64	[目標値] 64	[目標値] 64	幼児教育等の充実が図られた園数 (単位:園)	[目標値] 64	[目標値] 64	[目標値] 64	[目標値] 64	A	B	見直し (理由) 私立幼稚園等における職員の資質向上や教育及び保育内容の充実のために、必要な事業であるが、研修費補助など、趣旨に合致した使われ方がなされているか検証し、見直すべきである。